

科目ナンバリング		U-LET26 26956 LJ36									
授業科目名 <英訳>		西洋史学(講読) European History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 助教 藤井 俊之			
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 前期	曜時限	火1	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目		独書講読 I									
【授業の概要・目的】											
Illouz, Eva: Gefühle in Zeiten des Kapitalismus. Frank Furt am Main 2007. を読む。											
ある人物の語る歴史がどのようなものであるかは、語り手である当人が現代をどのように考えているかに左右される。現代を資本主義の時代と規定する本書の著者エヴァ・イルーズは、人間の歴史を感情という側面から照らしたそうとする。通例、感情という心的能力は理性的判断に劣るものとされ、社会生活においてはその抑制が求められる。その一方で、人々の喜怒哀楽が商業的なマーケティングの対象にされているのが現代であるとする著者は、本書において、客観性を重んじる態度の裏面で軽視されてきた感情という要素に焦点を合わせている。感情は単に個人的、主観的なものではなく、そもそも社会的、客観的な側面を備えている。しかしだからこそ、感情が売り物となった現代において、商品としての感情をひとは自分のものにできないという逆説が生じる。この逆説が生じてきた歴史的経緯を解き明かそうとする本書を読み解くことで、現代において歴史を語ることの意味について考えたい。											
【到達目標】											
必要分野での文献を読み解けるドイツ語の読解能力を養う。また、文献に現れる引用の読解を通じて、テキストの背景となる歴史的事象を考慮することを学ぶ。											
【授業計画と内容】											
第一回目にイントロダクションを置いて、その後の授業はテキストの訳読を中心に進める。その際に、全員が一度は担当を持つようにする。授業は15回全てを読解にあて、最後に、全体の総括として期末にレポートを課す。											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点と期末レポートで採点する。授業の際には各自が必ず訳読を担当することが求められる。それを踏まえて、期末レポートで各自の理解を測りたい。											
----- 西洋史学(講読)(2)へ続く -----											

西洋史学(講読)(2)

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

[授業外学習(予習・復習)等]

授業に備えて予め文献のドイツ語の予習をすることが必要である。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。